

山田厚のあゆみです

生まれと家族



1951年(昭和26年)、現在の北口3丁目で故健美・故清子の三男として生まれました。兄弟は長男康文(物故)・次男昭夫(札幌学院大学名誉教授)です。富士川幼稚園・新紺屋小学校・北東中学校・甲府南高等学校(5期)・立正大学史学科を卒業。現在、妻文子。長男要介(甲府一高卒・武蔵大卒)、長女幾実(甲府商業卒・女子美術大卒)は県外のため市内に戻るように要望中。

これまでの活動

1977年(昭和52年)から、総評・社会党の青年運動と労働安全衛生の活動を役員として山梨と東京で担いました。

1989年(平成元年)一般社団法人全国労働安全衛生研究会の設立に参画しました。

1999年より母校新紺屋小学校PTA会長をさせていただき、学校評議員にもなりました。

2001年(平成13年)財団法人労働安全衛生研修所の常務理事・教務員に推薦されました。

1995年(平成7年)甲府市議会議員選挙で初当選。現在は後援会と地域の皆さんの応援をいただき市議会議員として精力的に活動しています。

最近の主な活動

- ・甲府と山梨の保育所保護者連合会で会長と顧問をし、市立保育所保護者協議会でも初代の会長となり、現在は顧問です。
- ・地区では、文化協会・育成協・社会福祉協議会の各副会長、ワクワクスクール実行委員会代表として児童の健全育成などに貢献中です。
- ・一般社団法人全国労働安全衛生研究会代表、県身体障害者福祉会の市町村議員懇談会代表として学んでいます。自治体問題・安全衛生問題の著述、講演も各地でおこなっています。
- ・社民党山梨県連代表として護憲・平和活動をおこなっています。

詳しくはホームページをご覧ください

あなたの「相談できる議員」としてガンバります

不安のない生活を 身近な政治から



甲府市議会

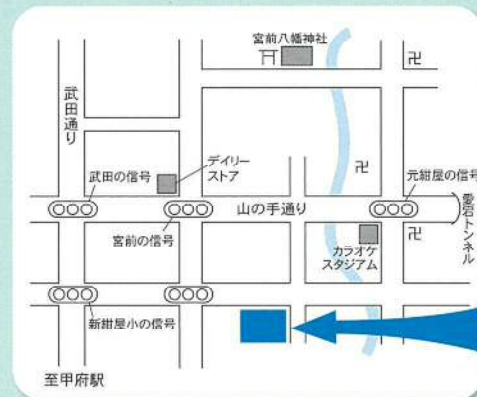
山田厚あつし

あなたの力が決め手 応援の手を 差しのべてください。

手づくりの応援
いただけますか？



- 応援していただける方のご紹介
- 電話かけ・郵便の発送・ご寄付
- 事務所の作業・宣伝カーウグイス
- 集会参加・友人の誘い
- ご友人との集いへのお招きーなど



私の事務所です
ぜひおこしくください。

山田厚とつくしの会

甲府市北口3-7-13
 TEL (055)253-6790
 FAX (055)254-4403
www.ne.jp/asahi/kofu/yamada/
 「山田 厚」と検索してください
yamada@peace.email.ne.jp

政策はホームページの検索で



しっかり! 身近な政治から、不安のない政治を!

どんな私です...がよろしくお願ひします

血液型はO型、身長は171cm、体重は71キロでほとんど変わりません。お医者さんは苦手で...自力でなおそうとします。

趣味は読書。フトンに入ってからも...出張中の電車の中も...なんか読んでいます。本は捨てないので仕事と小説の本は2万5千冊にもなっていました。

史跡は子どものころから好きです。小学生のころ中道まで自転車で行って土器のかけらを拾い集め宝物にしました。

文化的な素養はゼロ。カラオケもヘタ。地区の文化祭や夏祭りには設営などの体力で貢献。

特技は、資料・統計などを楽しんで調べ、文章を書くことも苦にはなりません。この特技は議員になってから役立っています。

自治体問題や安全衛生の関係のパンフやリーフは、今までに何冊か書いてきています。とにかく自分で自分を忙しくして毎日バタバタして、もの忘れも多い状況でこまったものです。



▲史跡部の研修は私の楽しみです。写真はNHK博物館での様子



▲グラウンドゴルフの大会も主催。しっかり「打ちまくって」います。



▲全国労働安全衛生学校とセミナーでは代表として講演もさせていただいています。

子育て 教育の充実を

定期的に保育所保護者協議会の皆さんと保育所の視察の様子。要望に結びつけています。大規模小学校の視察では保健室子どもがあふれていました。その改善を求めています。



正規も非正規も働く人の権利向上を

働く人の権利と雇用・労働条件の向上こそ社会を安心・安全なものにします。写真は山梨県メーデー集会でのあいさつと非正規職員さんの「乱暴」な雇止め「ストップ集会」の様子。



自治体議員の責務は市政の改善です

自治体議員の責務とは、市民生活から学び、行政をチェックし調査・提言し市政の改善につなげることです。今ではパネルは120枚以上にもなっています。毎年、レポート報告と市政報告会も行っています。



福祉の向上を

自治体の目的は「住民福祉の増進」です。高齢者も障がい者も大人も子どもも全ての人が大切にされるべきです。写真は代表をさせていただいている障がい者と議員の交流である自治体議員懇談会の様子。



環境保全と防災を



環境保全とは自然も生活も、人も生物も共に大切にすることで。それには防災も脱原発も必要です。写真は6回目にもなるリニアの沿線の視察に参加した時のもの。

平和を大切に

平和に暮らせることは全ての政治の基本です。写真は、主催者の一人でもある甲府空襲展と北富士でのオスプレイの監視行動。



私はおゆんでらま。みなさんの声と切実な生活と共だ